

CDP 2025「気候変動」で「A-」、「水セキュリティ」で「A」の評価を獲得

デンカ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：石田 郁雄）は、国際的な ESG 評価機関である CDP が公表した 2025 年の評価において、「気候変動」分野で A-スコアを獲得し、昨年の B スコアから 1 ランク向上しました。また、「水セキュリティ」分野では最高評価である A スコアを 2 年連続で獲得しました。



CDP（本部：ロンドン）は、2000 年に世界の機関投資家が連携して設立した環境情報開示システムを提供する国際的な非営利団体です。世界の主要企業に対して、気候変動や水セキュリティなどに関する質問票を送付し、その回答を元に、企業の環境情報開示の透明性や経営の関与等を評価した結果をスコア付けして公表しており、企業の環境活動を評価する指標として活用されています。

当社は、2023 年度よりスタートした経営計画「Mission 2030」の下、サステナビリティの追求を経営の根幹に位置付けております。2050 年カーボンニュートラルの達成に向けて、2030 年までに CO₂排出量を 2013 年度比で 60%削減する目標を掲げています。また、自社水力発電の利用効率の向上、再生可能エネルギーの導入、プロセス革新、製品ライフサイクル全体での排出削減などに取り組み、長期的な企業価値の向上と ESG 経営の深化に努めています。

デンカはこれからも、「化学の力で世界をよりよくするスペシャリストになる」というパーパスのもと、世界に誇れる化学で、人々の暮らしと社会に貢献し続けます。

以上

【報道関係者からのお問い合わせ先】

コーポレートコミュニケーション部 （電話 03-5290-5511）